

科目名	世界史B	単位数	3	必修選択	選択
教科書	詳説世界史 改訂版(山川出版社) 地歴高等地図 一現代世界とその歴史的背景一(帝国書院)				
副教材	ニューステージ世界史詳覧(浜島書店) 世界史用語集(山川出版社) 一問一答世界史(山川出版社)、新世界史研究ノート応用編(啓隆社)				

教科・科目の内容

世界史Bでは、人類が誕生し文明をつくりだすところから、近代国家の形成までの時代を中心に学びます。歴史は単に年表を暗記したり、人名や出来事を覚えたりするものではありません。歴史事象に対して、5W1Hを常に意識していくことが大切ですし、面白いところでもあります。

古代から一通りの学習を終えたら、世界史上における同時代の出来事についてまとめます。世界を空間的に捉えることで、学習内容を振り返るとともに、世界の一体化の様子を学習します。

日常生活や将来とのつながり

2020年は新型コロナウイルスによるパンデミックが世界中で大きな問題となりました。しかし、世界史を学ぶと14世紀におけるペストの大流行、20世紀におけるスペイン風邪など人類が感染症によるパンデミックに度々直面してきたことが分かります。では人類はそうした危機をどのように乗り越えてきたのでしょうか。歴史を学ぶことは未来への自分、人類にとっても有益なことであると考えられます。

また、グローバル化する現代社会において、あなた方はこれまで以上に世界との関りが深くなるでしょう。その時に日本のことだけでなく、広い視野で多角的に世界を見る力が求められます。世界史を学ぶことで、現代の国際問題を理解し、適切な判断ができる力を身に付けてもらいたいと思います。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

世界史を学ぶ上で重要なことは、時間軸と空間軸を把握し、歴史の「流れ」をつかむことです。それぞれの用語を覚えることも大切ですが、それ以上に「どのような時代」であるのかという歴史の大きな流れを意識しましょう。予習として教科書を読んでおくこと、復習としてノートを見直しまとめ用のノートをつくるなど、主体的に学ぶことが大切です。また、地図を活用することで、ビジュアル的に歴史を理解すると定着度が上がるでしょう。

到達目標

人類が積み重ねてきた多くの歴史事象を理解することで、現在の社会現象を客観的に見ることができるようになり、変化の激しい現代を生き抜く力を身につけることです。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(活動状況・ワークシート・ノート)

世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

② 思考・判断(活動状況・ワークシート・定期試験)

世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代社会の特質を多面的・多角的に考察し国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③ 資料活用の技能・表現(活動状況・ワークシート・定期試験)

世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。

④ 知識・理解(小テスト・定期試験)

世界の歴史について基本的な事項を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名（出版社）	副教材名
2年	世界史B	3	詳説世界史 改訂版（山川出版社） 地歴高等地区 ―現代世界とその歴史的背景―（帝国書院）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 世界史用語集（山川出版社） 一問一答世界史（山川出版社） 新世界史研究ノート応用編（啓隆社）

学期	学習内容	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	世界史への扉	・世界史を実質的に初めて学ぶことを考慮し、過去の出来事が現在の自分たちの生活と結びついていることを理解させ、興味と関心をもたせる。教科書で投げかけられている問いに答えることを通じて、歴史を学ぶ意義に気づかせる。	○	○	○	○
	序章 先史の世界	・進化図や道具図、洞穴絵画などの図版や写真、教科書に掲載されている諸言語の系統分類表を適切に活用している。				
	第1章 オリентと地中海世界	・オリент・地中海両世界とそれをまとめあげたヘレニズムおよびローマについて関心を持ち、追究している。				
	※ 中間試験・週末課題		○	○	○	○
	第2章 アジア・アメリカの古代文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・インド、東南アジア、中国（漢代まで）、南北アメリカの古代文明の成立の過程を理解する。 ・地図を用いて、遊牧民の移動や東西交易に果たした役割を把握できる。 ・遊牧民の活動と中華王朝の変遷が深く関連していることを理解し、考察できている。 ・魏晉南北朝から五代十国までの中華王朝と遊牧民の活動を関連づけて理解している。中華王朝と周辺諸国の関係を理解している。	○	○	○	○
※ 期末試験・週末課題		○	○	○	○	
二学期	第4章 イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム成立の背景と、地域・民族の枠をこえて拡大する理由について、イスラームの普遍性という観点から理解できている。				
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	・ヨーロッパ社会の形成を封建社会の成立と変容、教皇権と皇帝権や王権との対決などの観点から総合的にとらえることができている。 ・ゲルマン人とスラヴ人の移動、イスラームの地中海進出、ビザンツ帝国の動向がヨーロッパ世界の形成につながったことに関心をもてる。	○	○	○	○
	※ 中間試験・週末課題		○	○	○	○
	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・ユーラシア大陸の東西を結ぶ3つの道をめぐる交易の発達と東西交流の歴史的意義について理解、考察する。 ・モンゴル帝国が内陸アジア諸都市の、また元朝が海域のネットワークを支配下においた意味を、社会経済的な視点から考察し、文章にまとめる。 ・東アジアにおける明・清を中核とした国際関係と、イスラーム王朝が各地で独自の文明を成熟させたことに関心を持ち、追究している。	○	○	○	○
	第7章 アジア諸地域の繁栄					
※ 期末試験・週末課題		○	○	○	○	
三学期	第8章 近世ヨーロッパの形成	・大航海、ルネサンス、宗教改革がヨーロッパ世界に変革をもたらし、新たな時代が展開されたことに関心を持ち、追究している。	○	○	○	○
	※ 学年末試験・週末課題		○	○	○	○

備考	
----	--